



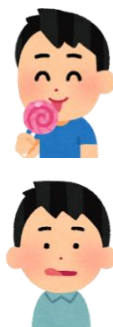
子育ての知恵袋

ことば遊び ～口遊びをしよう～ ②

今回は、「舌を使う遊び」をご紹介します

☆舌を使う遊び

- ・なめる（アイスなど）
- ・前に突き出す
- ・あっかんべー
- ・左右・上下に動かす
- ・頬を内側から押す
- ・歯を舐める
- ・舌を鳴らす



アイスや棒付きキャンデーを舐める時は、お菓子を動かさずに、舌を上下に動かすようにして舐めましょう！

*発音時に不自然な力が舌に入ると、うまく音をつくれなことがあります。

遊びの中で、リラックスした舌（脱力したホットケーキのような舌）もつくれるようにしましょう。

～子どもと楽しむ行事～

端午の節句

5 月は「こどもの日」があります。

節句は、江戸時代に 1 月 7 日、3 月 3 日、5 月 5 日、7 月 7 日、9 月 9 日を五節句とし、厄払いやお祝いの行事を行っていたのが始まり。明治 5 年までは月の周期に合わせた旧暦「太陰太陽暦」を使っていたため、今の「太陽暦」と約 1 ヶ月季節がずれています。

端午とは月のはじめの午（うま）の日を意味し、午がらと通じるところから、5 月 5 日になりました。

田植えの神様に豊作を祈るため、巫女が「しょうぶ」で作った小屋で身を清める風習があり、時期が近い端午の節句と結びつきました。これを「勝負」に結びつけたのは武士社会になってからで『男の子の節句』と長く言われてきましたが、男女二つの性で分ける事は多様性の現代では適した表現ではなくなっています。

こいのぼりがはためく風景も珍しくなりましたが、いにしえの想いを現代の解釈で子ども達に残せるよう、就学前の施設では工夫して行事を行っています。

日常と違う事がある行事。

子ども達には、わくわくする経験なので味わわせてあげたいものです。

行事の食や遊びは地域によって様々です。保護者の皆様が子どもだった頃はどうか？家庭で出来そうな事が見つかりますように。

関西では「ちまき」が奈良平城宮の頃から根付いた節句の厄払いの食べ物ですが、最近では関東で江戸時代に作られた「柏餅」に押されているようです。

花菖蒲は見つけにくいですが、気候の良い春は、花を見つける散歩もいいですね。

目的地までの「寄り道」「立ち止まる」という子どもの大好きな行動を見守り、何に関心を向けたのか一緒に楽しむ余裕が持てるといいですね。子どもと歩く事を目的にしてみてもいいです。

幼児教育センターは、就学前から小学校教育へつなぎます
夢と希望のもてる たからっこを
応援します！

宝塚市教育委員会 幼児教育センター

〒665-8665 宝塚市東洋町 1-1

電話 0797-71-1141 (市役所)

0797-77-2132 (直通)

FAX 0797-71-1891

E-mail m-takarazuka0289@city.takarazuka.lg.jp



★ 発達、就園・就学等の相談がありましたら、上記にご連絡ください。